

# 働く

# ママの

# 子育て事情



今回のほっとTタイムは、「安心して子育てができるまち」がテーマ。働きながら育児をする武藤さんと吉田さんのお二人と、市が4月から始めた子育て応援情報サイト「ちやいたか」の運営ボランティア・谷口さんをお迎えし、子育て事情について語っていただきます。

**市長** 皆さんはお子さんを保育所に通わせながらお仕事をされているというのですが、高崎は子育てのしやすいまちだと思いますか？

**吉田** 私は県外出身なのですが、高崎は優しい人がいっぱいいるなと思います。今の職場の上司も理解があって、とてもありがたいです。

**谷口** 私も県外出身ですが、そう思います。スーパで子どもが泣きやまないことがあって、そのとき優しく声をかけてくださる方がいて。身内以外の人から声をかけられると泣きやんだりするんですよ。

**市長** なるほど、それはいい話ですね。でも群馬の人は言葉がきついから、怒っているんじゃないかって思うこともないですか。

人は年がら年中けんかしてるんだろ うって思うらしいですよ。

**武藤** そうなんだ。私は高崎出身なので、ちよつとショックかも…。

**市長** でも皆さんご苦労されていることもあるんじゃないですか？

**武藤** そうですね。子どもを産んで仕事を再開するには、まず「保育所探し」が大変です。下の娘のときは、生まれる前から申し込みをしました。そうしないとお兄ちゃんと同じ保育所に入れないと聞いていたので。



武藤 明恵さん

**市長** いろいろところでお母さん方の話を聞くと、皆さん保育所探しには大変苦労されているんですよ。これはなんとかしなきゃいかんと思って、今年の5月から始めたのが、保育所にいつでも入れるように、保育士さんをあらかじめ多く採用するという新しい仕組みです。保護者から「入りたい」と話があったら、すぐ対応できるようにしよう、というもの。お金はかかりますが、子育て環境の整備はとても大切ですからね。

**「保育所探し」をもっと簡単に**

**市長** 吉田さんは、最近お子さんが保育園に入ったということですが、どういう風に探したんですか？

**吉田** 広報高崎を見ました。市の保育課に保育園を探す人専用の相談窓口ができた、というのが載っていて、なんていいタイミングでできたんだと思って、すぐに電話しました。

**市長** それも新しい取り組みです。これまでは途中入所しようと思ったら、保育所に直接電話し、空いてなければ何件もかけ続けなければならなかった。これは大変な労力。だから市役所に相談窓口をつくり、全て1か所で済ませるようにしよう。

**吉田** それで空きが見つかって、私の子は6月から入所できました。

**保育サービスを充実させる**

**谷口** 今一番大変なのは、子どもが

**武藤** 大人たちだけの時間も大切ですよ。

**市長** そう。ですから今後、地域ごとにばつばつと託児機能を持った施設を作りたい、と考えているんです。

**3人** それは、ぜひ実現してもらいたいです。

**役立つサイト「ちやいたか」**

**市長** もう一つ新しく始めたのがインターネットの子育て応援情報サイト「ちやいたか」です。市民ボランティアの方に運営してもらっているのですが、谷口さんもそこで活動されているんですよ。

**谷口** はい。子育て世代の方に、身近で安心な情報を発信するというコンセプトでやっています。

**市長** どんな情報が載っているの？

**谷口** 子どもと一緒に参加できるイベントや市の施設の紹介などです。ボランティアが直接取材に行ったり、記事にしています。私も三ツ寺公園に行き取材してきました。



富岡 賢治市長



谷口 杏奈さん

病気になるたときです。預けられる場所が高崎にはほとんどないんです。

**武藤** うちも子どもが2人いるので、病気のときは本当に苦労しています。祖父も仕事があり、いつも預かってもらえると制限が厳しい。

**谷口** 本当は病気のときくらい、そばにいてあげるのが母親なのかもしれない。でもどうしても休めない仕事もあります。そんなとき助けてもらえるといいなと思います。

**武藤** 突然休むというのは職場に後ろめたいし、申し訳ないです。

**吉田** 急に預けたくなってきたときに、ちよつと電話してすぐに来てくれる出張ポーターのような方がいるといいですよ。

**市長** そうですね。病気以外のときでも、高崎は子どもを気軽に預けられる託児施設が少ないと思います。専業主婦にしても、働いているお母さんにしても、育児のことだけで頭がいっぱい、というような状態はよくない。子どもを少し預けて、ボランティアをしたり、クラシックのコンサートに行ったり。そういう余裕を持ってもらうことが、いい子育てにもつながっていくと思うんですよ。



吉田 明子さん

も同じ店になってしまいます。

**谷口** 飲食店の情報も今は少しですけどありますよ。市民目線で面白い情報はどんどん載せていきたいですね。

**市長** サイトを見た人から、「今こういうことで困っている」という話が出てくるといいですね。やっぱり生の声を聴かないと分からないことが多いですから。

**谷口** 頑張ってください。これから期待してください。

**ママだけでなくパパの支援も**

**市長** 皆さん仕事も違うし、家庭も違う。一人一人のお母さんを取り巻く環境はさまざまです。その中でお母さんたちの選択肢をどのように増やせるような取り組みができるか。私は子育て支援ではこれが大切だと思っています。

**武藤** ママはみんな頑張っていますから、ママ対策だけじゃなくて、パパ対策もしてほしいと思います(笑)。

**市長** 確かにそうですね。課題は多いですが、みんなで知恵を出し合って頑張っていきましょう。本日はありがとうございました。

## 働くママの子育て事情



**吉田 明子さん**  
6月から保育園に通いだした1歳の男の子を持つ1児の母。飲食店勤務

**谷口 杏奈さん**  
2歳の女の子を育てる1児の母。子育て応援情報サイトの運営ボランティア。大学勤務

**武藤 明恵さん**  
4歳の男の子と0歳の女の子を持つ2児の母。育休から復帰し会社勤務

**富岡 賢治市長**  
若い人たちの子育て環境をさらに整えていきたいと考えている

撮影場所：群馬南保育園